

～旧東海道「神奈川宿」を歩く～

10月16日（水）曇り空ながら、70名の参加で東海道五十三次、三番目の宿場町であり、又、県の名前の由来でもある「神奈川宿」を楽しみました。京急神奈川新町駅前、江戸方面からの入り口の神奈川本陣、土居跡をスタートしました。開港当時、神奈川湊が開港場に決められ、横浜に変更されるまで多くの寺が諸外国の領事館に充てられました。宿場町当時のものはほとんどが失われていますが、開港当時アメリカ人宣教師で医者であったヘボン博士（ヘボン式ローマ字でも有名）が施療所を開いた宗興寺などがあり、又、滝の川に沿って本陣跡、浦島伝説の慶運寺があります。寺社を周りながら広重の浮世絵「東海道五十三次・神奈川」にも出てくる台町の茶屋「さくらや」が料亭「田中家」（坂本龍馬の奥さん「お龍さん」が仲居として働いていた）として現存している料亭を巡り、上方よりにある街警備強化のための神奈川台関門跡で解散となりました。説明を聴きながら歩くことで歴史ある街を感じました。今日は体力増強と認知症予防に非常にプラスになり充実した一日でした。

※案内・地図配布資料として神奈川区役所発行の「神奈川宿歴史の道」と「神奈川歴史・亀さんぽ」を利用させていただきました。

歩こう会実行委員会 中山 雄二



5組に分かれて歩きました。皆さんの笑顔を見てください！！！！







笠のぎ稲荷神社



浄龍寺門前



洲崎大神境内



台町の料亭田中家前



神奈川宿



良泉寺前



高札場（復元）前